

いぶりのあらし

胆振の概況 2018

位置

- 胆振管内は11市町（4市、7町）からなり、北海道の中央南部にあって、東西152km、南北98kmの細長い地形で、南側の約218kmは海岸線で太平洋に面しています。
- 隣接する地域は、東側が日高、西側が渡島、北側が後志、石狩、空知、上川の各総合振興局及び振興局となっています。

面積

- 胆振の総面積は3,697km²で、本道の総面積の4.4%（北海道総面積83,424km²・北方領土を含む）に当たります。全道14総合振興局及び振興局の中で4番目に小さい面積ですが、奈良県（3,691km²）とほぼ同じ面積です。

地勢

- 胆振の東部地域は、単調に続く砂浜沿いの平坦地から石狩平野へと広がる勇払平野をはさんで、西に樽前山、支笏湖、東は波状型丘陵地を経て、日高山脈へと続いています。
- 西部地域は、変化に富んだ海岸沿いの平坦地から内陸部へ向かって丘陵地、山岳と続き、ほぼ中央部に洞爺湖や有珠山があり、東にはホロホロ山、オロフレ山、鷲別岳が南北に並んでいます。

自然

- 胆振地域には、支笏洞爺国立公園に指定されている優れた景勝地があります。

洞爺湖周辺では、有珠山、昭和山などが国際的にも重要な火山現象と火山地形を呈しています。

登別温泉周辺は、登別地獄谷、大湯沼、倶多楽湖などから構成され、温泉郷独特のたたずまいを見せています。

また、樽前山周辺では、樽前山と支笏湖が森林と湖の静かな景観を形成しています。

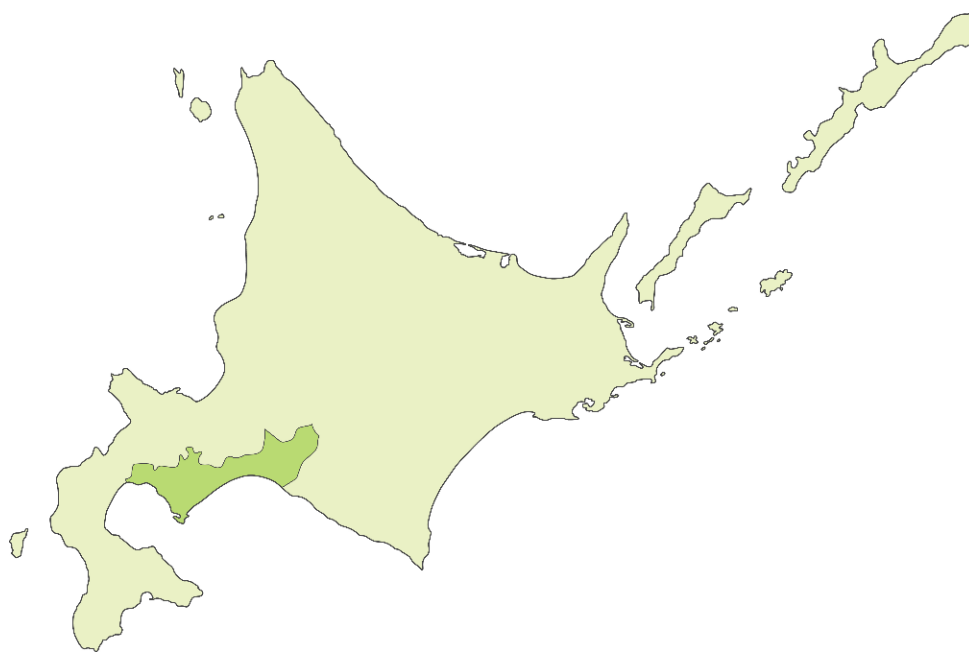
- そのほか、都市近郊の湖沼や海岸線などにも、国設鳥獣保護区やラムサール条約登録湿地に指定されているウトナイ湖をはじめ、美々川流域、地球岬周辺など質の高い自然が広く残されています。

◎総合振興局及び振興局別面積

総合振興局及び振興局	面積	構成比
①十勝	10,831.62k m ²	13.0%
②オホーツク	10,690.60k m ²	12.8%
③上川	10,618.70k m ²	12.7%
④根室	8,500.37k m ²	10.2%
⑤釧路	5,997.50k m ²	7.2%
⑥空知	5,791.59k m ²	6.9%
⑦日高	4,811.13k m ²	5.8%
⑧宗谷	4,626.07k m ²	5.5%
⑨後志	4,305.88k m ²	5.2%
⑩渡島	3,937.46k m ²	4.7%
⑪胆振	3,697.04k m ²	4.4%
⑫石狩	3,540.15k m ²	4.2%
⑬留萌	3,445.88k m ²	4.1%
⑭檜山	2,630.32k m ²	3.2%
全道	83,424.31k m ²	100.0%

・国土地理院「平成27年全国都道府県市区町村面積調」に基づく
胆振総合振興局調べ

・根室振興局には北方領土の面積を含む



いぶりのあらし

胆振の概況 2018

気候

- 管内の気候は、一般的に臨海性で一部には海霧の発生する地域や冷涼な地域を含みますが、積雪寒冷の厳しい北海道にあつては、比較的温暖で暮らしやすい地域となっています。
- 春の訪れは比較的早く、夏は蒸し暑さがなく、さわやかで安定した気候の長い秋が続きます。冬は大陸からの寒気の影響が小さく、山間部の一部を除き温暖で積雪量が少ないなど、年間を通じて恵まれた気象条件にあります。

◎平成29年月別平均気温

地点名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
室蘭市	▲1.6	▲0.8	1.9	6.6	11.8	14.3	21.0	19.3	17.5	11.8	5.6	▲0.5
(平年値)	▲2.0	▲1.9	0.9	5.8	10.2	14.0	17.9	20.5	18.0	12.6	6.1	0.5
苫小牧	▲4.0	▲2.5	0.9	5.3	10.7	13.8	20.4	19.6	16.8	10.3	4.3	▲2.1
(平年値)	▲3.8	▲3.4	0.1	5.1	9.5	13.6	17.6	20.3	17.4	11.3	4.7	▲1.1
札幌	▲3.9	▲2.0	1.4	7.7	14.4	16.0	22.9	21.7	17.7	11.3	4.3	▲2.0
(平年値)	▲3.6	▲3.1	0.6	7.1	12.4	16.7	20.5	22.3	18.1	11.8	4.9	▲0.9

【29年平均(平年値)：室蘭8.9℃(8.6)、苫小牧7.8℃(7.6)、札幌9.1℃(8.9)】

◎平成29年月別降水量

地点名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
室蘭市	64.5	40.5	42.0	81.0	111.5	179.50	118.0	124.5	161.0	126.0	94.0	61.5
(平年値)	54.9	43.0	48.2	75.1	101.3	107.5	165.1	192.8	164.4	93.0	75.2	64.4
苫小牧	30.0	13.0	36.0	93.0	139.5	239.0	69.0	91.0	188.0	143.5	129.5	54.0
(平年値)	40.0	33.7	51.9	79.7	119.5	95.8	167.9	205.0	167.3	103.5	82.9	50.9
札幌	72.5	57.5	75.5	65.5	57.5	168.5	75.5	78.5	187.0	114.0	129.0	77.0
(平年値)	113.6	94.0	77.8	56.8	53.1	46.8	81.0	123.8	135.2	108.7	104.1	111.7

【29年降水量(平年値)：室蘭1,204.0mm(1,184.9)、苫小牧1,225.5mm(1,198.1)、札幌1,158.0mm(1,106.6)】

◎平成29年月別日照時間

地点名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
室蘭市	89.4	91.3	218.2	234.0	211.1	196.2	198.1	116.6	205.1	150.6	74.6	81.0
(平年値)	89.7	121.9	181.6	194.2	194.1	156.5	128.0	143.0	167.8	170.2	105.0	74.4
苫小牧	142.8	135.2	194.3	209.9	192.9	154.3	183.8	97.5	183.6	149.3	126.0	148.4
(平年値)	141.3	141.2	165.7	171.0	171.7	123.3	98.4	118.9	153.3	163.1	129.1	126.2
札幌	77.2	87.0	184.1	193.2	212.4	165.8	200.8	184.4	183.3	152.9	94.0	84.8
(平年値)	92.5	104.0	146.6	176.5	198.4	187.8	164.9	171.0	160.5	152.3	100.0	85.9

【29年日照時間(平年値)：室蘭1,866.2時間(1,726.4)、苫小牧1,918.0時間(1,703.2)、札幌1,819.9時間(1,740.4)】

※ 気温・降水量・日照時間ともに気象庁調べ



いぶりのあらし

胆振の概況 2018

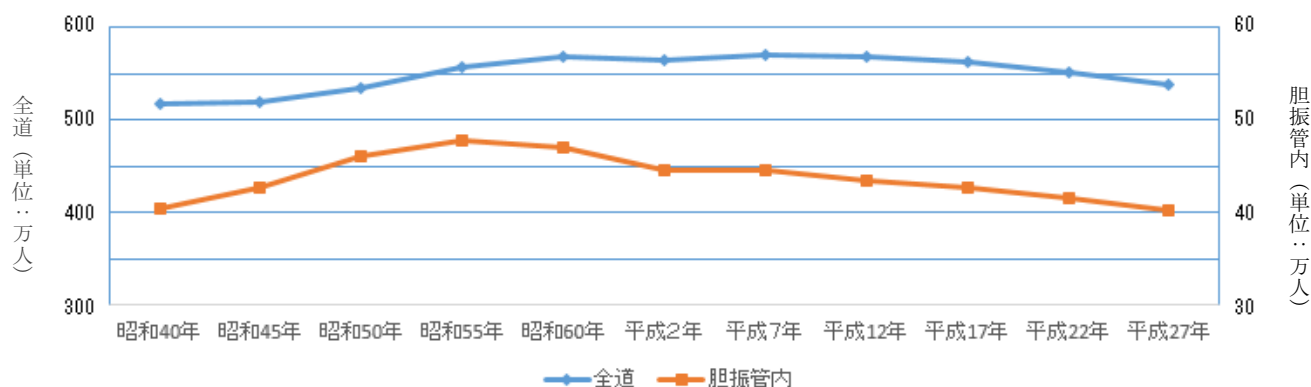
人口

- 管内の人口は、平成27年国勢調査で401,755人で、北海道の総人口の7.5%を占めています。人口密度は、108.7人/km2で全道平均68.6人/km2を上回っています。
- 総人口は、国勢調査が始まった大正9年以来増加を続けていましたが、基幹産業の鉄鋼、造船企業の相次ぐ合理化等に伴い、昭和60年の国勢調査で初めて減少し、平成27年の国勢調査では前回（平成22年）調査と比較して14,534人減少しました。
- 総人口に占める65歳以上の人口の割合は、平成7年国勢調査では15.5%でしたが、平成22年では26.5%、平成27年では31.2%と、高齢化が進行しています。

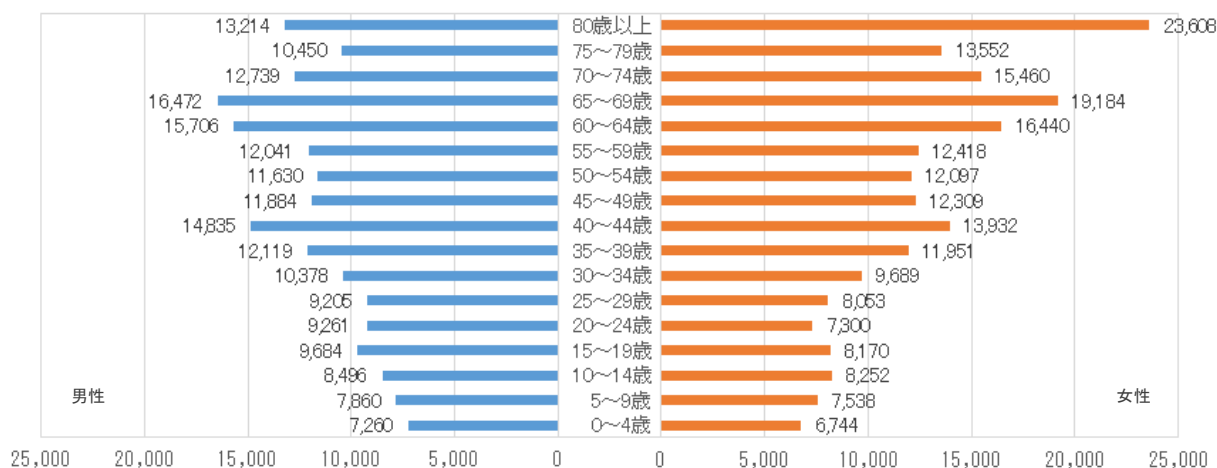
◎市町村別の人口・世帯数

	人口						世帯数	
	住民基本台帳（平成29年1月1日）			平成27年国勢調査			住民基本台帳 （平29年1月1日）	平成27年 国勢調査
	総数	男	女	総数	対平成22年増減(%)	国勢調査における人口ピーク		
室蘭市	87,180	41,775	45,405	88,564	▲5,971(▲6.3%)	昭45 162,059	46,600	43,616
苫小牧市	173,135	84,375	88,760	172,737	▲583(▲0.3%)	平22 173,320	87,334	78,298
登別市	49,440	23,564	25,876	49,625	▲1,901(▲3.7%)	昭60 58,370	24,940	21,681
伊達市	35,098	16,356	18,742	34,995	▲1,283(▲3.5%)	平12 37,139	17,868	15,054
豊浦町	4,180	1,964	2,216	4,291	▲237(▲5.2%)	昭25 11,194	2,252	1,973
壮瞥町	2,647	1,260	1,387	2,922	▲310(▲9.6%)	昭25 7,563	1,350	1,168
白老町	17,685	8,456	9,229	17,740	▲1,636(▲8.4%)	昭60 24,353	9,586	7,955
厚真町	4,674	2,291	2,383	4,838	▲52(▲1.1%)	昭25 10,395	2,143	2,126
洞爺湖町	9,196	4,271	4,925	9,299	▲833(▲8.2%)	昭40 16,243	4,981	4,240
安平町	8,273	4,095	4,178	8,148	▲578(▲6.6%)	昭35 14,485	4,207	3,651
むかわ町	8,564	4,208	4,356	8,596	▲1,150(▲11.8%)	昭35 19,859	4,318	3,784
合計	400,072	192,615	207,457	401,755	▲14,534(▲3.5%)	昭55 476,929	205,579	183,546

◎人口の推移（国勢調査）



◎胆振管内の人口構成（平成27年国勢調査）



いぶりのあらし

胆振の概況 2018

産業構造

【産業概要】

- 管内は、農業、林業、水産業、工業、観光、港湾運輸など、バラエティに富んだ産業活動が展開されています。
- 業種別就業人口で見ると、全道と比べて第1次産業のウエイトが低く、第2次産業のウエイトが高くなっています。
- 工業、観光、港湾運輸は、全道で高いシェアを占めており、北海道の振興に大きく寄与しています。

【雇用情勢】

- 管内の有効求人倍率は、全道の水準を上回って推移しています。

◎産業別就業者割合（平成27年国勢調査）

市町名	15歳以上就業者総数(人)	第1次産業	第2次産業	第3次産業
室蘭市	37,286	0.9%	25.2%	70.2%
苫小牧市	76,793	1.7%	24.9%	66.2%
登別市	21,048	1.2%	24.0%	73.1%
伊達市	16,124	10.3%	18.0%	70.8%
豊浦町	2,060	25.7%	11.7%	62.1%
壮瞥町	1,390	26.5%	7.8%	64.8%
白老町	7,037	10.2%	27.3%	61.2%
厚真町	2,787	33.9%	17.5%	47.3%
洞爺湖町	4,337	13.7%	13.6%	70.8%
安平町	4,006	24.9%	16.6%	57.7%
むかわ町	4,485	32.9%	17.4%	49.1%
胆振管内計	177,353	5.2%	23.3%	67.2%

注)分類不能の産業があるため各産業の合計は100%になりません。

◎有効求人倍率の推移

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
室蘭	0.63	0.43	0.54	0.56	0.66	0.80	0.96	1.13	1.25	1.36
苫小牧	0.44	0.32	0.35	0.45	0.52	0.68	0.88	1.02	1.00	1.12
全道	0.43	0.35	0.41	0.41	0.57	0.74	0.86	0.96	1.04	1.11
全国	0.73	0.41	0.51	0.62	0.74	0.87	1.00	1.11	1.25	1.38

◎産業概要

項目	全道 (a)	胆振 (b)	(b)/(a)	出展
農業産出額 (平成28年度)	億円 12,115	億円 687	% 5.7	「農林水産2統計年報」による
林業素材生産量 (平成25年度)	千m ³ 3,997	千m ³ 155	% 3.9	胆振総合振興局調べ
漁業生産額 (平成26年)	億円 3,017	億円 154	% 5.1	「北海道水産現勢」による
製造品出荷額等 (平成26年)	億円 66,728	億円 28,162	% 42.2	工業統計調査による
観光入込客 (平成26年度)	万人 13,343	万人 1,556	% 11.7	「北海道観光入込客数調査報告書」による
商品販売額 (平成26年)	億円 164,552	億円 8,852	% 5.4	商業統計調査による
港湾貨物取扱量 (平成26年)	万トン 20,649	万トン 13,058	% 63.2	「北海道港湾統計年報」による
外国貿易額 (平成25年)	億円 20,066	億円 15,973	% 79.6	函館税関調べ

◎業種別就業者数（平成27年国勢調査）

産業別	胆振管内		全道		
	就業者数(人)	比率(%)	就業者数(人)	比率(%)	
第1次産業	9,173 (5.2%)	7,848 4.43%	170,336 (7.0%)	138,740 5.70%	
第2次産業	漁業	1,325 0.75%	31,596 1.30%		
	鉱業、採石業、砂利採取業	230 0.13%	2,094 0.09%		
	建設業	17,816 10.05%	205,224 8.43%		
第3次産業	製造業	23,189 13.08%	204,251 8.39%		
	電気・ガス・熱供給・水道業	119,165 (67.2%)	1,333 0.75%	1,718,253 (70.6%)	13,201 0.54%
	情報通信業	1,162 0.66%	42,566 1.75%		
	運輸業、郵便業	12,066 6.80%	130,793 5.37%		
	卸売業、小売業	24,912 14.05%	378,424 15.54%		
	金融業、保険業	2,723 1.54%	48,102 1.98%		
	不動産業、物品賃貸業	2,167 1.22%	45,599 1.87%		
	学術研究、専門・技術サービス	3,424 1.93%	63,572 2.61%		
	宿泊業、飲食サービス業	11,368 6.41%	144,990 5.95%		
	生活関連サービス業、娯楽業	6,639 3.74%	88,880 3.65%		
	教育、学習支援業	6,985 3.94%	105,352 4.33%		
	医療、福祉	24,561 13.85%	326,058 13.39%		
	複合サービス業	1,872 1.06%	32,078 1.32%		
	サービス業(他に分類されないもの)	12,918 7.28%	171,436 7.04%		
	公務(他に分類されるものを除く)	7,035 3.97%	127,202 5.22%		
分類不能の産業	7,780 (4.4%)		134,940 (5.5%)		
15歳以上就業者総数	177,353 (100.0%)		2,435,098 (100.0%)		